

令和7年12月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年12月分について、輸出額は「自動車の部分品」などが増加したものの、「自動車」、「映像機器」などが減少したことから、対前年同月比7.9%の減少となった。また、輸入額は「その他の採油用種子」などが増加したものの、「液化天然ガス」、「原油及び粗油」などが減少したことから、同17.4%の減少となった。その結果、差引額は847億円（同26.3%の減少）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	985億円	▲7.9%	1,832億円	▲17.4%	▲847億円	▲26.3%
	17カ月連続の減少		2カ月連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1)自動車の部分品	102億円	+31.1%	輸入	増加品目	(1)その他の採油用種子	22億円	+78.4%	
		(2)その他の化学製品	42億円	+64.3%			(2)米	6億円	全増	
		(3)プラスチック	58億円	+26.4%			(3)自動車の部分品	11億円	+115.3%	
	減少品目	(1)自動車	165億円	▲28.3%		減少品目	(1)液化天然ガス	373億円	▲17.6%	
		(2)映像機器	14億円	▲59.2%			(2)原油及び粗油	1,017億円	▲6.9%	
		(3)電気回路等の機器	51億円	▲21.0%			(3)液化石油ガス	12億円	▲85.3%	
	地域別動向	西欧、アジアが減少、大洋州は増加				地域別動向	大洋州、アジアが減少、西欧は増加			

（参考）ドルレートは、155.86円（前年同月比2.2%、3.38円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。